



小江原小学校だより

## 光満つ丘・空と風

令和7年2月7日号

文責：秋山壽哉



### 「心からお詫びとお礼を申し上げます」

2月5日(水)の緊急対応に際しまして、保護者やご家族の皆さまには、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

テトルにて配信しました通り、登校時刻の変更、その後の給食配送の中止に伴う児童の引き渡しと続き、保護者やご家族の皆さまに多大なるご負担とご迷惑をおかけしましたことに対し、校長として心よりお詫び申し上げます。

長崎市教育委員会より給食配送中止の連絡を受け、子どもたちに牛乳しか提供できない状況を考慮しました。お腹を空かせている子どもたちを安全かつ確実にご自宅等にお返しする手立ては、引き渡しがいと判断しました。

このことに伴い、お叱りのお言葉をいただきました。保護者やご家族の皆さまには、それぞれご事情がおありになるので、お叱りを受けることは当然のことです。だからこそ、そのお言葉と意思をしっかり受け止め、今後、よりよい教育活動につながるよう、教職員一同、更に励んでまいります。

子どもたちに対しても、急な変更等、特に給食において牛乳しか提供できないことを校長として謝罪しました。

「校長先生、大丈夫です!」

「牛乳って、こんなにおいしかったんだ。」

「給食のありがたさが、分かりました。」

など、前向きに受けとめてくれていました。

小江原っ子のみなさん、ありがとうございました。

実際に引き渡しを行った際には、私ども教職員に対し、労いのお言葉を多くいただくこともありました。繰り返しになりますが、ご協力いただきました、保護者やご家族、そして関係者の皆さまに、心から感謝申し上げます。

あらためて、長崎市教育委員会より届きましたお詫びの文書を掲載いたします。

### 配付文書に掲載



朝、子どもたちが作った「雪だるま」が、微笑ましくみんなをお迎えしていました。